

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経済史 (Economic History)					担当教員	権 五景 (グオン オーギョン)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2036-0-33-084	専門科目	選択	2 単位	3 年次	前期		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2436-0-33-023	専門科目	選択	2 単位	3 年次	前期		

① 授業のねらい・概要
本講義では、時代的には13世紀以降を、地理的には主に、欧米とアジア諸国を、内容的には今日の資本主義に影響を与えているトピックスを中心に説明していく。 一連の講義を通して、世界経済と資本主義がどのような歴史をたどって成り立ってきたのかについて、知的好奇心を高めることを目的とする。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
毎回、教科書の解説と復習を兼ねた質疑を行うことで、理解の確認と知識定着を進める。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
なし
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
レジュメ等配付
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
なし
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
大学生としての最低限の経済教養が修得できる授業を目指す。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 資本主義の歴史をいくつかの出来事について説明することができる。 (ii) 資本主義の歴史をいくつかの出来事の因果関係を中心に説明することができる。 (iii) 授業中のスモール・ディスカッションを通して、クリティカル・シンキングが身につく。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 物をめぐる経済史	物をめぐる経済史に関してレジュメは見ないが、レジュメの用語と自分の言葉を使い、他者に明確に説明できる。	物をめぐる経済史に関してレジュメに頼らず説明できる。	物をめぐる経済史に関してレジュメを見ながら説明できる。	物をめぐる経済史に関してレジュメを見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	物をめぐる経済史に関してレジュメを見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(ii) 産業をめぐる経済史	産業をめぐる経済史に関してレジュメは見ないが、レジュメの用語と自分の言葉を使い、他者に明確に説明できる。	産業をめぐる経済史に関してレジュメに頼らず説明できる。	産業をめぐる経済史に関してレジュメを見ながら説明できる。	産業をめぐる経済史に関してレジュメを見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	産業をめぐる経済史に関してレジュメを見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(iii) システムをめぐる経済史	システムをめぐる経済史に関してレジュメは見ないが、レジュメの用語と自分の言葉を使い、他者に明確に説明できる。	システムをめぐる経済史に関してレジュメに頼らず説明できる。	システムをめぐる経済史に関してレジュメを見ながら説明できる。	システムをめぐる経済史に関してレジュメを見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	システムをめぐる経済史に関してレジュメを見ても、教員等の支援を受けても説明できない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		30%		20%		100%
(i) 物をめぐる経済史	15%		10%		6%		31%
(ii) 産業革命をめぐる経済史	15%		10%		6%		31%
(iii) システムをめぐる経済史	20%		10%		8%		38%
フィードバックの方法	毎回の授業の冒頭にクラスルームの掲載内容について触れていく。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	①オリエンテーション、②13-14 世紀におけるフェアの意義は何であったか	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
2	大航海は世界をどのように変えたか	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
3	コーヒーと茶とチョコレートの世界化のプロセスと影響	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
4	特許は経済発展にプラスだったのかマイナスだったのか	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
5	17-18 世紀における資本主義の土台としての市民革命	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
6	経済発展において、フランスがイギリスに遅れた理由	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
7	後発工業国のドイツはどのようにして強大国になったのか	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
8	アヘン戦争は偶然だったのか必然だったのか	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
9	社会主義の興亡から学ぶ	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
10	世界経済を揺るがした金融バブル	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
11	世界経済を復興させたケインズ経済学の盛衰	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
12	古き良き時代に終止符を打ったアジア通貨危機	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
13	フラット化する世界経済	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
14	「ニーダムの問題」から経済発展を見る	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分
15	①E. S. Reinert の富国貧国論に基づいて世界経済を展望する、 ②まとめ	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
授業の進行方法は講義と復習を兼ねた簡単な質疑応答で構成される（知識定着・確認型 AL）。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性